



## がんばる！！

年度初めやなんかの行事前に、みんなに目標をあげてもらうことは多い。これから個人目標や学級スローガン、体育大会の目標を決めていくことになるだろう。その前に、みんなは昨年立てた自分の目標（勉強や生活面、部活動や人間関係など）を覚えているだろうか？「えっ～！そんな目標やった？」「忘れた～。」「目標とかありましたっけ？」なんて声きこえてきそうやけど、そんな目標なら意味はない！忘れるくらいなのは目標にならん！！

そこで今回は目標の決め方についてふれよう。**【勉強を頑張る】**こういう目標を立てた人に私は必ずこう言う。「勉強の何をがんばると？」「どのようにがんばると？」「その達成したかの判断はだれがどうやってすると？」「がんばるの基準は？」

「がんばる」という言葉は簡単だが、本当はすごく難しいのです。



すごく今日、勉強を  
がんばったあ。

と自分で思っているけど、

あんたが「がんばる」は  
その程度なの？



こういうこともよくある。

だからこそ、目標は具体的でだれがみても達成できたか判断できるものがよい。

例えば、

○通知表全教科4以上

○中間テストで400点以上 など・・・。

こういっただれでも判断できる目標が自分にも厳しくのしかかってがんばるきっかけになるのだ。

## 目標は自分で決めた以上追及するべし！

## 追及できる目標を決めるべし！！

### 新聞記事より

目標を持てば 勉強頑張れる  
(福岡市早良区・中学生)

人間はなぜ勉強しなければならぬのだろうか。人間はどうして学校へ行かなければならないのだろうか。私は受験生の道を歩んでいる。人生最初の選択機会を前に、いまだにどうして勉強しなければいけないのかを考えている。

子ども時代は、よく考えることかもしれない。理由もわからず勉強する人の方が少ないと思うからだ。「あなたにとって勉強とは」と聞かれても答えは出ない。でも自分に言い聞かせていることはある。「自分の夢、いい将来への道をつくるためだ」。難関高校に入学することを目標にするのもいいかもしれない。

勉強するときは、自分の将来を想像した方がより頑張れるのではないだろうか。将来ばかり考え、理想に浸るばかりでもいけない。「こんな夢を抱いている」「そのためにいま努力するんだ」。目標をしっかりと頭に入れてやれば、自分にも、受験にも勝てるのではないか。

受験に関わることや、生き方や考え方が深まるような新聞記事の内容をたまに紹介しますので、読んでみてください。